



第9回 大阪湾セミナー

調査データから見える 大阪湾と生き物

参加費無料
申込み受付

日時 平成26年 **7/13(日)**
13:30~16:00 (受付開始13:00)

会場 大阪府立環境農林水産総合研究所
環境科学センター1階 環境情報プラザ研修室
(大阪市東成区中道1丁目3-62)

定員 50名(先着順)

大阪府立環境農林水産総合研究所では、岬町の水産技術センターにおいて大阪湾の環境や魚などの生き物に関する調査研究を行っています。

今回の大阪湾セミナーでは、これまでの調査データを基に、大阪湾の環境や大阪湾でのアユの生活史をお話しするとともに、新調査船の全貌をお話しします。みなさまの参加をお待ちします。

大阪湾の海底環境と生物、 データから見える20年の変遷 水産研究部 秋山 諭

大阪湾の海底にはカレイ類やシャコの餌となるような小さな、そして多様な生き物が生息しています。

小さな生物は周囲の環境の影響を受けやすく、生息する生物種も変化します。これまでの20年以上にわたる調査データから、大阪湾の環境と生物の変遷についてお話しします。

大阪湾のデータ収集を行う調査船、 その内部と調査風景 水産研究部 横松 宏幸

大阪湾の環境改善や漁業資源の管理に必要な基礎データの収集を行う「調査船おおさか」を平成25年3月に新たに就航しました。

船体設備や船内の様子、各種調査風景など、今回初めて映像等でご紹介いたします。

一生の半分を海で暮らすアユ、 大阪湾での生活史 水産研究部 大美 博昭

最近、大阪でも何かと話題になるアユ。アユはその一生のうちの半分を海で暮らします。川で生まれ、大阪湾に流れ着いたアユはどのような場所で過ごすのでしょうか。

新淀川や大和川河口域で行った調査から大阪湾におけるアユの生活の一端をのぞいてみたいと思います。



調査船おおさか

申込方法

1 申込方法

web申込：当研究所ホームページのセミナー参加申込みフォームから

大阪府立環境農林水産総合研究所 検索

<http://www.kannousuiken-osaka.or.jp/ssl/140713/20/>

fax申込：下記の申込用紙をご利用ください。

2 応募締め切り

平成26年6月18日（水）から、7月10日までの間、お申込み先着順で受け付け。

※定員（50名）を超えた場合のみ、ご参加いただけないことを連絡します。

大阪府立環境農林水産総合研究所 経営企画室 推進グループ
(fax: 072-956-9790)

大阪湾セミナー fax 申込書

フリガナ

○氏名

○所属

(団体・企業等にご所属の場合ご記入ください)

○電話、FAX 番号、メールアドレス等連絡先 (いずれか)

(参加申込が定員を超え、ご参加いただけない場合の連絡時に使用します)

(応募で得られた個人情報は、当イベント以外には使用しません)

会場アクセス (大阪府立環境農林水産総合研究所 環境科学センター)



問合せ: 大阪府立環境農林水産総合研究所

経営企画室 推進グループ

電話: 072-979-7070 (担当: 佐々木、曾和)